

# 普及センター



# もいおか



第108号平成23年5月20日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

## 普及センターの産直活動支援

～農産物の価格設定について理解を深めてもらいました～

盛岡農業改良普及センターでは、管内の産直活動支援に取り組んでいます。この度、盛岡市が4月28日にエスポワールいわてを会場として開催した産直意見交換会において、先進地事例紹介とともに、当センターの経営体育成チームが農産物の原価計算について講義しました。

農産物の原価計算の講義では、茨城県つくば市の産直「みずほの村市場」の事例をもとに、原価計画の必要性について説明するとともに、価格決定の基本を解説しました。



農産物の原価計算の講義



トマトのデモデータをもとに  
原価計算する参加者

その後、参加者がトマトの原価を算出する演習をしました。参加者はみな原価計算が初めてで、計算に苦戦している人も見られ、「難しかった」との感想も聞かれましたが、必要性は理解されたようでした。

農産物の原価計算では、値下げ競争に悩んでいる産直が多い中、普及センターでは再生産できる価格設定についての理解を広めるとともに、様々な角度から産地直売所の支援をしていきます。

# 盛岡普及センター管内の農作業事故と対策

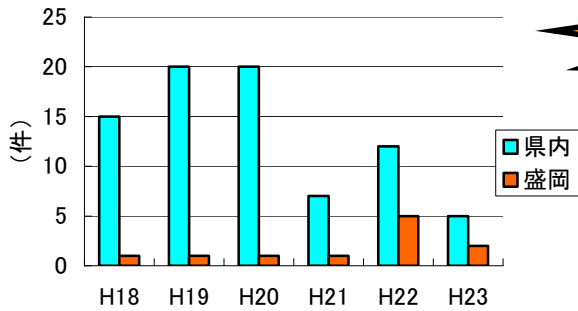


図1 農作業事故の発生件数の推移

**農作業死亡事故  
が増えてます！！**

盛岡普及センター管内\*では、4月以降、農作業死亡事故がすでに2件発生しています。昨年も県内で発生した死亡事故の12件中、5件が盛岡普及センター管内で発生しており、農作業死亡事故が急増しています。

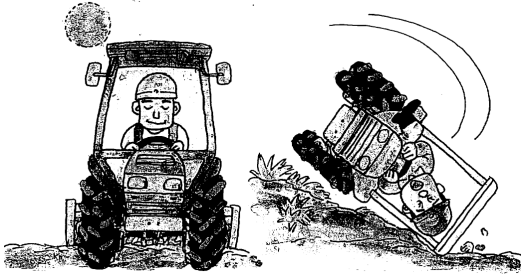
※盛岡普及センター管内：盛岡市、雫石町、滝沢村、紫波町、矢巾町

管内で発生した事故では、71歳以上高齢者の割合が6割以上と大きく、トラクターによる横転・下敷き等、農業機械に関係したものが多くのが特徴です。

## 農作業事故防止のために！！

◎トラクターによる横転・下敷きが多い

◎高齢者の事故が多い

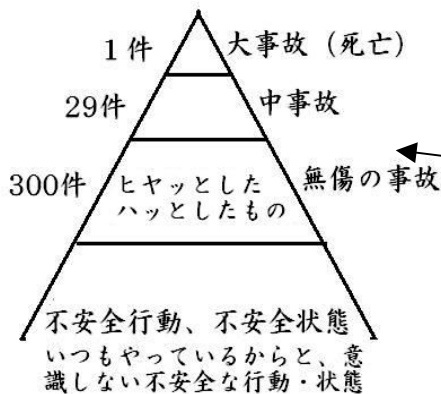


安全フレーム・キャブを装着したトラクターを使いましょう。  
日頃から点検整備を行うようにしましょう。



若い人より動作が緩慢で、疲れやすくなっています。積極的に休憩をとり、余裕をもって作業しましょう。

◎農作業のヒヤリハット体験



【ハインリッヒの法則】

1件の大事故の背景には、29件の中事故、300件の無傷の「ヒヤリとした、ハットしたもの」体験があるもの

放置すると大事故につながることも

ヒヤリハット体験や本人が意識しない不安全な行動等があれば、地域・家族内で報告したり話しかけたりして、危険を未然に防ぎましょう。